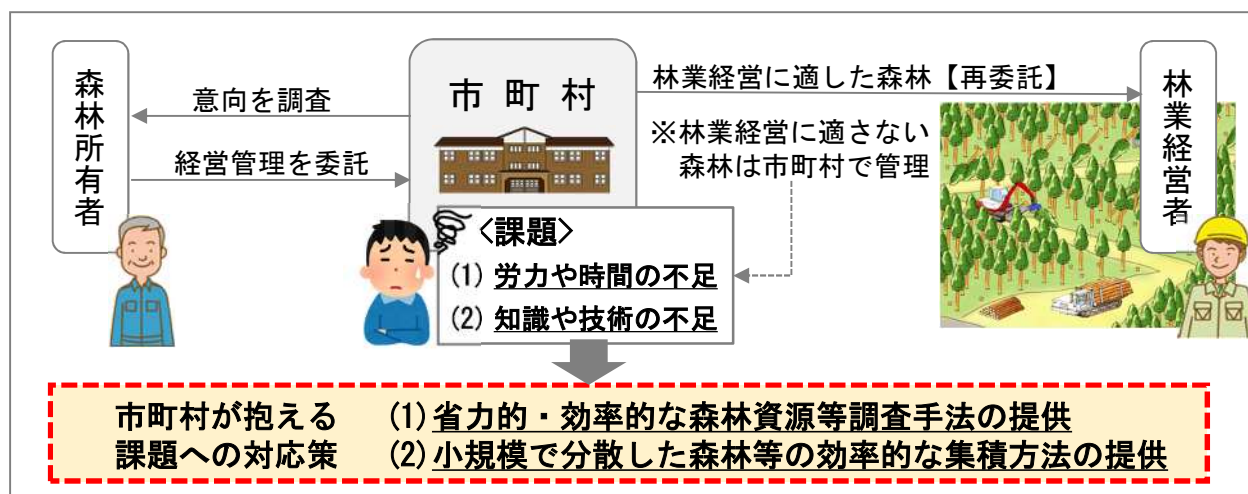


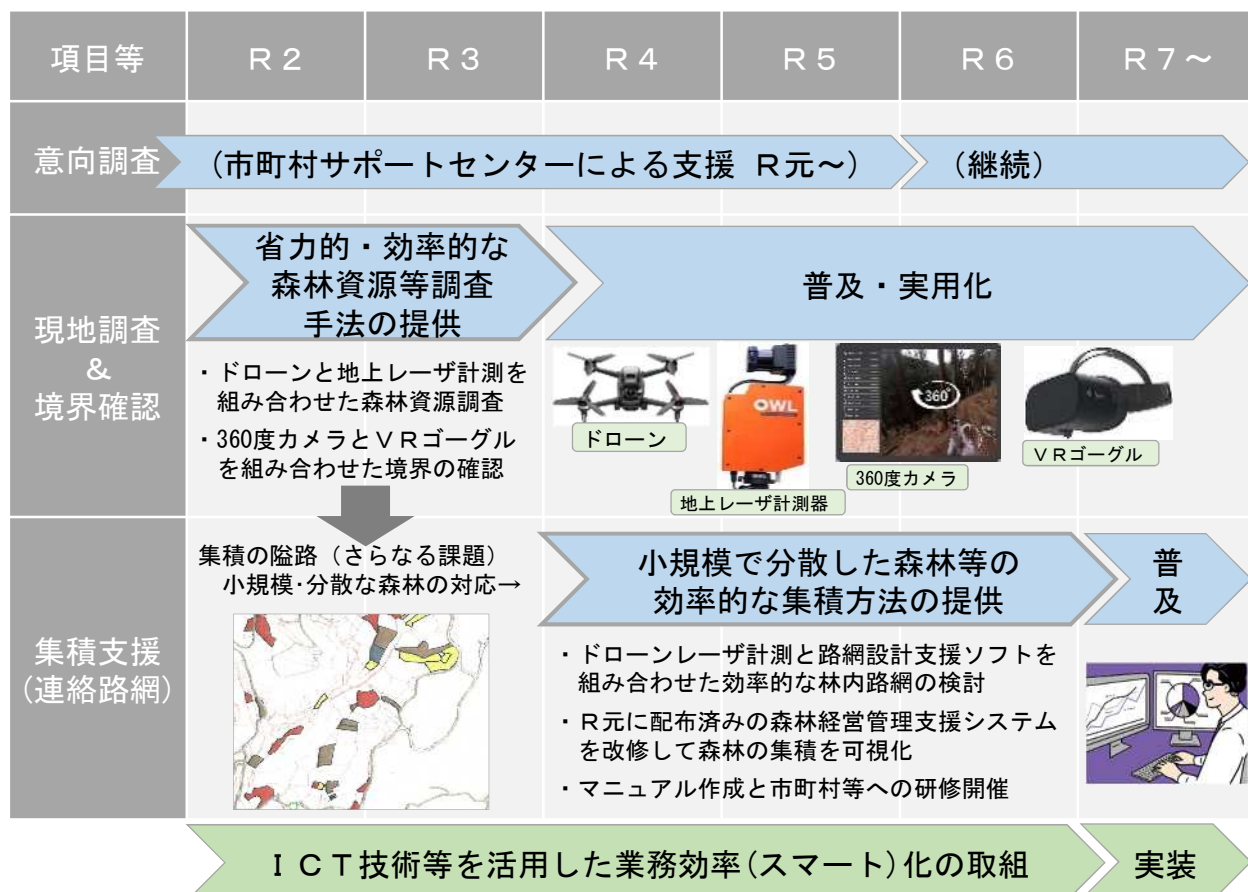
森林資源調査等におけるスマート化の取組

1 現状・課題

- ・ 森林経営管理制度に取り組む市町村においては、林業経営に適した森林か否かの判断に際し、事前の森林資源調査や境界確認が重要
- ・ 森林資源調査等には、多くの労力・時間や関連する知識・技術を要するが、林業の専門職員が少ない市町村においては、効率的な技術や手法等が必要
- ・ 本県では、森林環境譲与税を活用し、同制度を推進する市町村の支援策として、既存のICT技術等を組み合わせた効率的な森林資源調査手法等を実証・普及



2 森林資源調査等におけるスマート林業推進のロードマップ



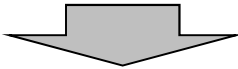
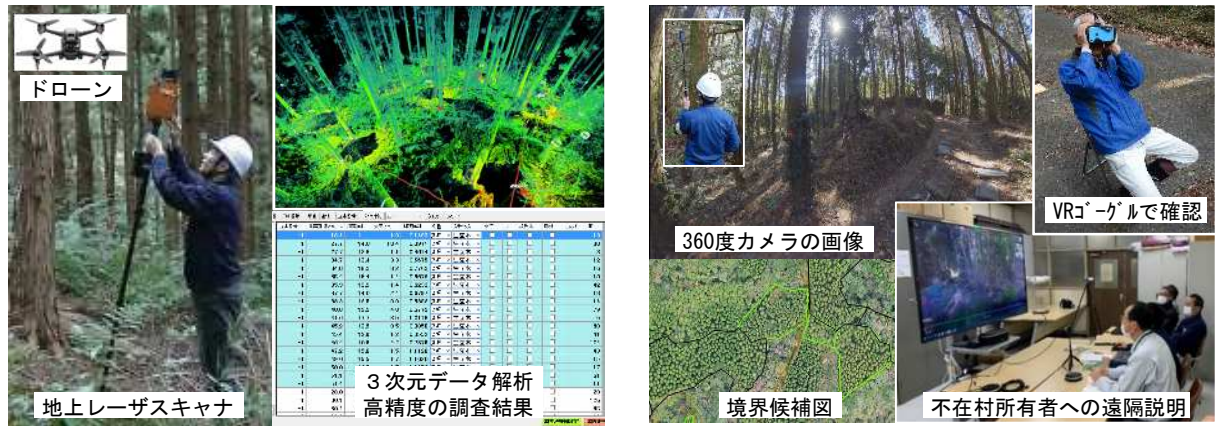
3 取組内容（森林環境譲与税を活用した市町村支援）

- ・ 市町村が森林経営管理制度を進めるに当たり、森林資源調査等の省力化・効率化、小規模で分散した森林等を集積する技術（連絡路網や合意形成等）の支援が必要
- ・ 地上レーザ計測等のICT技術を活用した森林資源調査等の手法を提供

(1) 省力的・効率的な森林資源等調査手法の提供

<森林資源調査イノベーション推進事業（R2,3）>

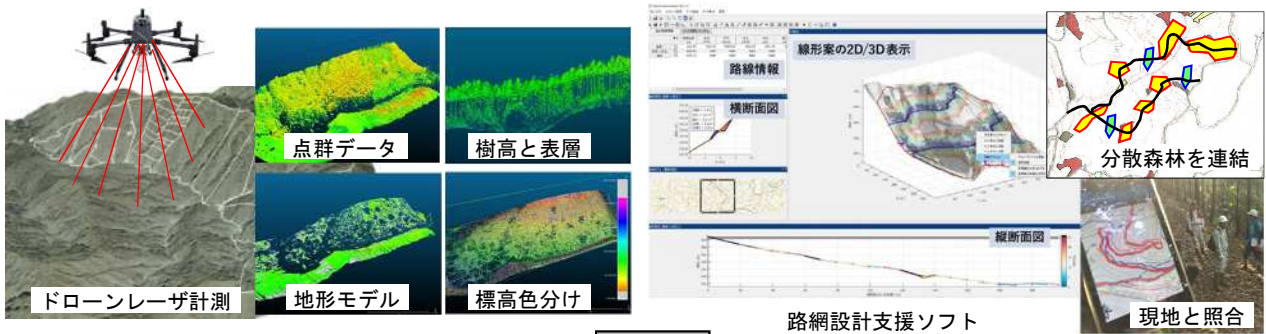
- ◆ドローンと地上レーザ計測による森林資源調査
- ◆360度カメラやVRゴーグルによる境界確認



(2) 小規模で分散した森林等の効率的な集積方法の提供

<森林管理イノベーション導入事業（R4~6）>

- ◆ドローンレーザ計測による地形等解析（R4）
（分散した森林の地理的条件を把握）
- ◆路網設計支援ソフトとの連携（R4）
（分散した森林を路網で連結⇒集約化）



- ◆森林経営管理支援システム（市町村配布済）の改修（R5）と市町村等へ普及（R6）

